

取組実績報告の際のチェックシート案

1 目的

- ①各事業所管課に前年度の取組実績について事業の結果報告や自己評価を依頼する際、回答を作成する際のヒント・手助けになるようなガイドラインを作成し、回答内容を平準化し、質を高める。
- ②主観的な評価に偏らず、事業を振り返り評価する。また、振り返りの結果を踏まえ、今後の事業で取り組むべき事項を明確にする。
- ③創意工夫や留意点、好事例についての回答を引き出し、参考になる回答については他部課にも共有し、事業全体の質を高める。

2 活用法

- ①評価基準とチェックリストを連動させる。
- ②取組実績報告を行う際、チェック項目の左側（「はい」）にチェックした場合は、その内容を事業実績と評価の説明・理由に記載してもらうようにする。

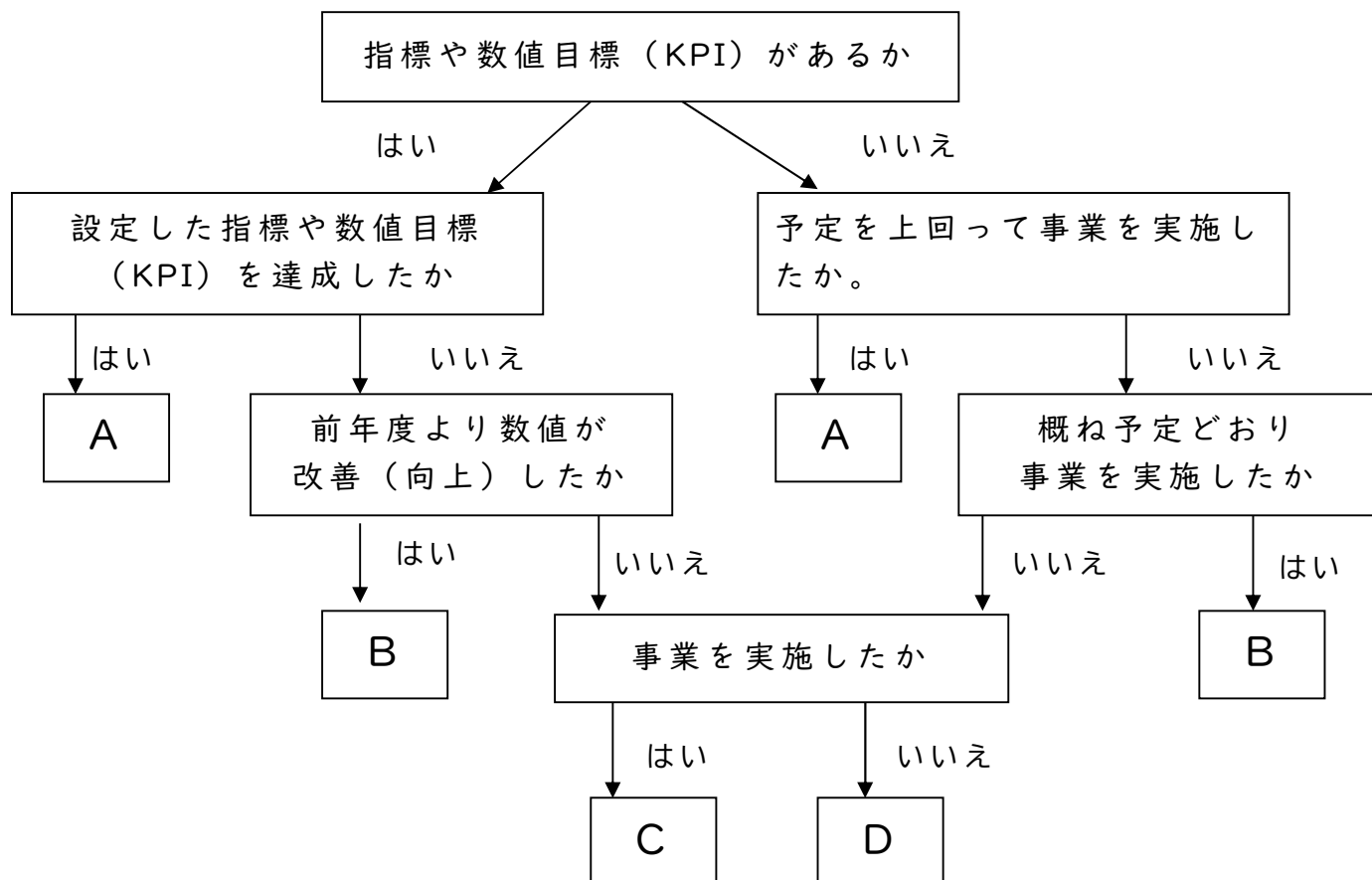
【評価基準】

区分	点数	評価内容	
		指標や数値目標（KPI※）がある場合	指標や数値目標（KPI）がない場合
A	3	目標を達成した。	予定を上回って事業を実施した。
B	2	目標は達成されなかったが、前年度より数値が改善（向上）した。	概ね予定どおり事業を実施した。
C	1	前年度より数値が後退（減少）した。	事業を実施したが、一部未着手だった。改善の余地がある。
D	0	事業を実施していない。	事業を実施していない。

※ K P I

「Key Performance Indicator」の略で、日本語では「重要業績評価指標」と呼ばれます。KPI は、組織やチームが設定した目標に対する進捗や達成度を測定するための具体的な指標です。

3 評価チェック



4 事業実績、評価の説明・理由の内容チェック

以下の項目で「はい」にチェックした場合は、事業実績や評価の説明・理由欄に具体的な内容を記載してください。

	着眼点	チェック	
改善・工夫	前年度や前回から改善を図ったか。	はい	いいえ
	理解の促進や業務効率化のために行った創意工夫や留意点があるか。	はい	いいえ
意識	事業実施にあたり、ジェンダー平等の視点を取り入れたか。	はい	いいえ
	事業実施にあたり、多様な性の視点を取り入れたか。	はい	いいえ
反応	セミナーや講演会などでの参加者の声やアンケート結果で、良い反応はあったか。	はい	いいえ
連携	他団体との連携や協力を推進したか。	はい	いいえ

例	広報・出版物等における表現の配慮 市から情報発信する刊行物・ホームページ等で言葉やイラスト等を、ジェンダー平等推進と多様な性の尊重の視点から望ましい表現にします。				
事業実績		評価	評価の説明・理由	今後の対応、次年度の課題 等	担当部局
・「ジェンダー視点から考える表現ガイド」を作成し、日頃の発信から見直す必要性について職員向けに周知・啓発を行った。 ・庁内報「Diversity Times」を発行し、市職員向けにジェンダー表現について周知啓発した。5回 ・市から情報発信する刊行物・ホームページ等で言葉やイラスト等を、ジェンダー平等推進と多様な性の尊重の視点から望ましい表現にするよう努めた。		B	・従前あった「ジェンダー平等と多様な性を知り行動するための職員ハンドブック」のジェンダー表現の部分をアップデートし作成した。 ・市から情報発信する刊行物・ホームページ等で言葉やイラスト等を、性別差がないよう配慮し、ジェンダー平等推進と多様な性の観点から適切な表現を行い、担当課に対しても助言するよう努めた。	・表現ガイドを活用し、引き続き市の発行物について配慮し、職員向けにも周知していく。 ・引き続き各コンテンツにおいて、ジェンダー平等推進と多様な性の観点から適切な表現を行い、加えて担当課の表現についても留意して確認していく。	市長室 経営企画部